|  |  |
| --- | --- |
| 受付番号 | 2022-Ｕ- |
| 受 付 日 | 年　　月　　日 |

課題申請書様式 （事務記入欄）

令和４年度 橋渡しシーズA 課題申請書

　提出年月日　令和4年　ｘｘ月　ｘｘ日

|  |  |
| --- | --- |
| 研究課題の名称 |  |

**●申請課題について**

＊橋渡しシーズA

橋渡しシーズAは、研究期間内に特許出願を完了し、その後、非臨床試験でのPOC取得、治験等を実施し、医薬品・医療機器としての実用化を目指すものを対象とします。

＊併願の禁止

東北大学以外の拠点へ令和４年度の橋渡しシーズAとして申請した又は申請する課題は申請できません。

研究内容が実質的に同一とみなされる又は極めて類似性が高い課題を、令和4年度のシーズAとして複数の拠点へ併願した場合は、採択されても後日取り消しとなる場合があります。

●申請する課題は、　　□　新規申請課題　　　　□　令和3年度のシーズAとして支援を受けた課題

＊継続申請

令和3年度のシーズAとして支援を受けた課題を継続申請する場合は、別途、成果報告書をご提出いただきます。（成果報告書の原紙は別途お送りします。）

**課題の概要**（500字以内）

|  |
| --- |
|  |

**研究代表者**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏名 |  | フリガナ |  |
| 所属大学 |  |
| 所属部局 |  |
| 所属分野 |  | 役職 |  |
| 電話 |  | E-mail |  |

**申請に係る連絡窓口担当者**

（研究代表者と異なる場合に、ご記入ください。事務ご担当の方でも問題ありません）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏名 |  | フリガナ |  |
| 所属大学 |  |
| 所属部局 |  |
| 所属分野 |  | 役職 |  |
| 電話 |  | E-mail |  |

1. **研究課題の内容**

|  |  |
| --- | --- |
| 対象疾患分野 | □眼　　□耳鼻咽喉　　□歯　　□脳　　□神経　　□循環器　　□呼吸器□消化器　　□腎･泌尿器　　□産科　　□生殖器　　□整形　　□筋・骨格□皮膚　　□血液　　□内分泌・代謝　　□免疫　　□感染　　□疼痛　　□精神□悪性腫瘍　　□糖尿病　　□小児　　□その他（　　　　　）　　□未定 |
| 対象疾患 | 最低1つの具体的な対象疾患をご記入ください（可能であれば臨床試験をイメージして）。さらに、展開できそうな他の対象疾患があれば、併せてご記入ください。 |
| 薬事申請上の分類 | □医薬品　　□医療機器　　□体外診断用医薬品　　□再生医療等製品□その他 |
| 具体的な製品像 | 例：○○疾患の治療に用いられる△△化合物を含む医薬品。 |
| 本研究課題で目指す具体的な製品像の市場について | 具体的な市場（イメージ）、市場規模（金額、対象の患者数）、主な参入企業などをご記入ください。 |

|  |
| --- |
| 本研究課題で解決される課題 |
| 本研究課題で解決を目指す技術課題についてご記入ください。\*できれば、背景や意義等についても併せてご記入ください。 |

|  |
| --- |
| 上記課題を解決するための従来技術（1）\*把握されている従来技術を３つまでご記入ください。 |
| 上記の「本研究課題で解決される課題」を解決するための既存技術についてご記入ください。 |
| 有用性 | 安全性 | コスト |
| 当該従来技術の有用性についてご記入ください。 | 当該従来技術の安全性についてご記入ください。 | 当該従来技術を用いて上記課題を解決するための費用についてご記入ください。例：製造コストが高くかなり高額。 |
| 本技術を実施している企業や研究機関等 |
| 当該従来技術を実施している、若しくは実施しようとしている、あるいは開発している企業、研究機関等があればご記入ください。 |

|  |
| --- |
| 上記課題を解決するための従来技術（２） |
|  |
| 有用性 | 安全性 | コスト |
|  |  |  |
| 本技術を実施している企業や研究機関等 |
|  |

|  |
| --- |
| 上記課題を解決するための従来技術（3） |
|  |
| 有用性 | 安全性 | コスト |
|  |  |  |
| 本技術を実施している企業や研究機関等 |

|  |
| --- |
| 前記課題を解決するために**本研究課題で用いる技術** |
| 前記の「本研究課題で解決される課題」を解決するために本研究課題で用いる技術についてご記入ください。 |
| 有用性 | 安全性 | コスト |
| 本技術が実現した場合に見込まれる有用性についてご記入ください。できれば、従来技術との差異（メリット・デメリット）についてもご記入ください | 本技術が実現した場合に見込まれる安全性についてご記入ください。できれば、従来技術との差異（メリット・デメリット）についてもご記入ください | 本技術が実現した場合に見込まれる前記課題を解決するためのコストについてご記入ください。できれば、従来技術との差異（メリット・デメリット）についてもご記入ください例：製造が従来技術よりも簡単で安価になる。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 本研究課題で実施する内容 | 「3.必要経費」および「4.スケジュール」と整合するように具体的にご記入ください。 |
| 本研究課題に関連する特許出願済、又は出願予定の特許出願 | 該当する特許出願の情報（出願番号、出願日、本研究課題との関連等）をご記入ください。 |

**２．本研究課題を進める際の連携状況**

|  |
| --- |
| 臨床医との連携状況 |
| 連携する（連携が見込まれる）臨床医がいる場合はご記入下さい。 |
| 他の研究機関等との連携状況 |
| 連携する（連携が見込まれる）他の研究機関等があればご記入ください。 |
| 実用化に向けての企業連携の状況 |
| 連携する（連携が見込まれる）企業があればご記入下さい。 |

**3．必要経費**

本研究に必要な経費を、費目毎に記述してください（内訳も記入してください。）

＊一般管理費を含まない直接経費を計上してください。

合計の上限：　1,822,727円（橋渡しシーズA）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 費目 | 金額（千円） | 内訳 |
| 物品費（設備備品費） |  | 経費の合計の５０％を上限としてご記入ください。物品費（設備備品費）は「５０万円以上／一式」のものが対象となります。５０万円未満のものは物品費（消耗品費）にご記載ください。例）細胞培養用設備　１，０００千円　内訳　ＣＯ２インキュベータ　１，０００千円 |
| 物品費（消耗品費） |  | 例）細胞培養用消耗品及び○○試験用消耗品　45０千円内訳　細胞培養用培地、試薬　２００千円　　　　細胞培養用消耗機器　　15０千円　　　　○○試験用抗体、試薬　１００千円 |
| 謝金 |  | 例）細胞培養補助者への謝金　３００千円内訳　月１００千円×３名　３００千円 |
| 雑役務費 |  | 本研究課題の性質上、旅費及び論文・学会発表に係る費用は計上できません。例）抗体作製外部委託費　２００千円内訳　Ａ抗体及びＢ抗体作製外部委託費　２００千円 |
| 合計 |  |  |

注：　内訳は可能な限り詳細にご記入ください。

注：　原則として申請後の必要経費（内訳含む）の変更は認められませんので、ご留意の上ご記入ください。採択後に変更が必要となる場合は、別途協議の上、変更可否を決定させて頂きます。

注：　研究代表者の所属機関が東北大学以外の場合は、研究代表者の所属機関と東北大学との間で委託研究開発契約を締結し、直接経費及び一般管理費（直接経費の10％に相当する額）の合計額を配分致します。

注：　その他、各費目の取り扱いについては、AMED補助事業事務処理説明書※をご確認頂き、事業費として計上が認められない経費にご注意くださいますようお願いいたします。

※AMED補助事業事務処理説明書：https://www.amed.go.jp/content/000086404.pdf

注：　拠点内（東北大学）の申請課題については、特許出願に係る費用は経費に計上しないでください。

拠点外（東北大学以外）の申請課題については、特許出願に係る費用も計上が可能です。

（雑役務費としてご記載ください）

注：　物品費（設備備品費）は、経費の合計の５０％を上限としてご記入ください。

注：　本研究課題の性質上、次に掲げる費用は計上することができません。

旅費／学会参加費／論文投稿に係る費用／人件費（謝金として対応できるものは除く）

**4．スケジュール**

”実施内容”欄に内容を記載し、その内容を実施する期間を右の欄に矢印で示してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 実施内容 | 令和４年度 |
| ４月 | ５月 | ６月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 大学への発明届出・特許出願 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

注： 東北大学の場合、「発明届出・特許出願」は、学内審査及び出願書類作成の関係より、発明届出から２ヶ月程度要します。本研究課題の目標は年度内の特許出願ですので、ご留意の上、スケジュールの作成をお願いいたします。

**5．参加者リスト**

研究代表者、及び研究課題への協力者

本研究を実施する方の情報をご記入ください。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | フリガナ氏名 | e-Rad番号 | 所属役職 | 本研究での役割 |
| 代表者 |  |  |  |  |
| 協力者 |  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

※　研究代表者は、所属大学等の教職員としてください（大学院生は協力者として記入してください）。

※　協力者として代表者の所属大学以外の方をご記入いただけますが、その場合、原則として代表者の所属大学以外の協力者に研究経費を配分することはできません。

※　代表者以外のe-Rad番号は分かる範囲で構いません。

**６．研究費の応募・受入等の状況**

申請書の提出日時点における、研究開発代表者の（１）申請中の他の研究費、及び（２）現在受け入れている研究費（予定含む）について記載してください。

（１）申請中の他の研究費

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名） | 研究開発課題名（研究開発代表者氏名） | 役割(代表・分担の別) | 令和4年度の研究経費(千円)直接経費［研究期間全体］ | エフォート(%) | 今回申請する研究課題との相違点 |
| ○○事業（R３～R５・AMED） | ○○と△△の相関に関する研究（○○○○） | 代表 | 6,000[18,000] | 30 | 研究とは××の視点から調査する意味で異なる。 |
| 科学研究費補助金・挑戦的萌芽研究（R３～R４・日本学術振興会） | ○○と△△の□□への依存性に関する調査研究（○○○○） | 代表 | 3,000[9,000] | 20 | 研究とは××の視点から調査する意味で異なる。 |
| 令和３年度○○財団研究助成金（R３・○○財団） | ××と□□の研究（○○○○） | 分担 | 1,000[1,000] | 10 | 本研究とは××の視点から調査する意味で異なる。 |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

（２）現在受け入れている研究費（予定含む）

既に採択済みで研究費を受け入れている又は受け入れる予定となっているもの。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名） | 研究開発課題名（研究開発代表者氏名） | 役割(代表・分担の別) | 令和4年度の研究経費(千円)直接経費［研究期間全体］ | エフォート(%) | 今回申請する研究課題との相違点 |
| 橋渡し研究戦略的推進プログラム・○○拠点・シーズA（R３・AMED） | ○○と△△の相関に関する実験的研究（○○○○） | 代表 | 0[２,000] | 30 | 本研究は××の研究を行う。 |
| 異分野融合型研究開発推進支援事業・○○拠点（R３・AMED） | ××と□□の研究（○○○○） | 分担 | 0[1,000] | 10 | 本研究とは××の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。 |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

**※**「エフォート」欄には、年間の全仕事時間を１００％とした場合、そのうち当該研究の実施等に必要となる時間の配分率（％）を記載してください。